

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 123	提案機関名 水産課
<b>要望問題名</b> 漁場整備効果調査	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 漁場整備実施後の効果把握は、事後評価に必須であるとともに、整備した漁場施設の活用と、今後の新たな整備のために重要である。そこで、国庫補助事業（1/2）等を活用し、整備後の事業（増殖場（H19-22）や浮魚礁（H21-23））の効果調査の実施を要望する。また、今後の漁場整備では生態系全体の生産力の底上げをめざし、水産生物の生活史に対応した良好な生息環境を整備することが求められている。このことから、餌料培養型魚礁の設置海域や藻場増殖礁の構造や適地を提言するための研究を実施するよう要望する。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	資源環境部、栽培技術部
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)			
<b>対応の内容等</b> 整備した漁場施設については、国庫補助事業が確保されることを前提にして効果調査を行っていきます。 餌料培養型魚礁や藻場増殖礁については、整備構想の海域や対象生物等について、詳細な打ち合わせの後、調査研究の予算化と併せ検討いたします。			
<b>解決予定年限</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			